

(5) ビジョンに掲げる各領域におけるこれまでの取組状況

人づくり

01

少子化対策

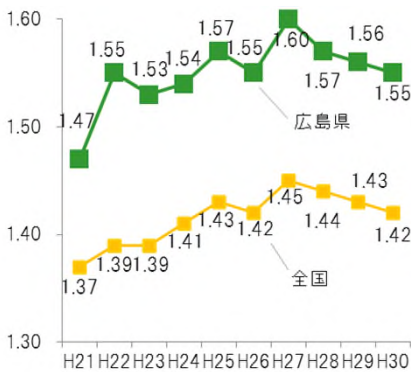
ポイント

子育てしやすい環境づくりに向け、保育環境の充実や子育てに関するサポート体制の強化など、企業、地域の方々と連携する中で、着実に進めています。

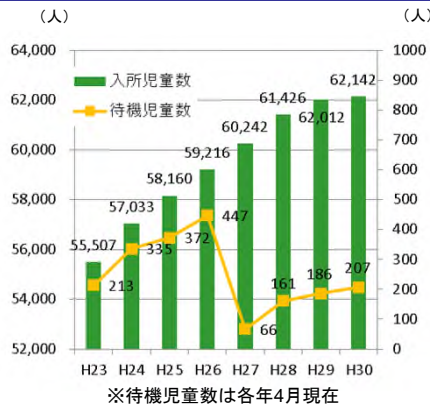
結婚を希望する人が出会い、結婚し、また、子供を希望する人が安心して妊娠・出産できる環境の整備に向けて、結婚から出産・子育て期を通した、切れ目ない支援を一層強化していきます。

主な指標等

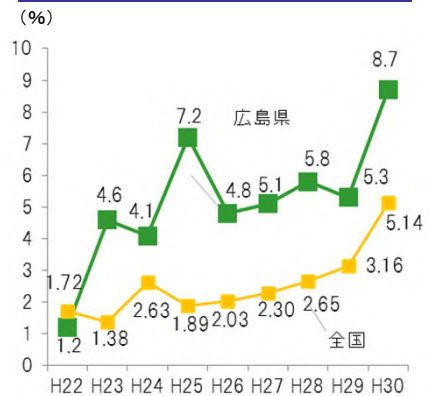
【合計特殊出生率】



【保育所等入所児童数】



【男性の育児休業取得率】



H21以降、常に

全国平均 以上

保育所等入所児童数は

着実に増加

H23以降、常に

全国平均 以上

主な実績

● 出会い・結婚を支援

➢ ひろしま出会いサポートセンター

会員登録数: **13,495人** [H26.8~H31.3末]

➢ ひろしま出会いサポーターズ

(地域で結婚支援を行うボランティア団体): **35団体** [H31.3末現在]

➢ こいのわイベント(大小様々な出会いイベント)

イベント回数: **468回**, 参加者数: **17,079人**, マッチング: **2,455組**
[~H31.3末]

● 待機児童解消に向けた保育の充実

➢ 入所児童数: **6,635人増** [H23.4: 55,507人 ⇒ H30.4: 62,142人]

➢ 保育所を探す保護者の相談窓口 **保育コンシェルジュ**の配置 [H25~]

➢ 保育士不足の解消に向けた **保育士人材バンク**の運営 [H24.7~]
求職登録人数: **2,547人** 就職数: **1,427人** [H24.7~ H31.3実績]

● 地域の子育てサポート体制の充実

➢ 「ひろしま版ネウボラ」モデル事業開始

[H29: 福山市, 尾道市, 海田町
H30: 三次市, 北広島町, 府中町]

➢ 子育てサービス登録店舗数: **6,704店舗** [H31.3末現在]



[H22: 4,110店舗 ⇒ H30: 6,704店舗]

イクちゃん
サービス店舗

➢ 「ひろしま自然保育認証制度」の創設 [H29]

➢ 地域子育て支援拠点設置箇所数

: **+45箇所** [H22: 109箇所 ⇒ H30: 154箇所]

➢ 「子育てスマイルマンション認定制度」の創設 [H25]

県内金融機関と連携した住宅ローン金利優遇など

認定状況: **33件, 2,037戸**の計画認定 [H31.3末現在]

女性が能力を発揮する社会の実現を目指して、仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくりなど、多様なライフスタイルを可能にし、意欲的に働くことができる環境づくりに向けて取り組んでいます。

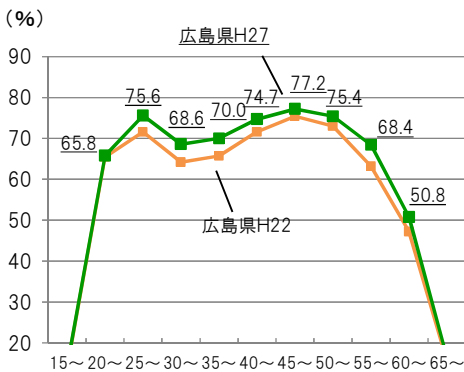
ポイント

関係指標は上昇傾向ですが、子育て世代の女性の就業率が落ち込む「M字カーブ」は依然として解消されていない状況です。男女とも家庭と仕事の両立ができるよう、より一層の取組を強化します。

また、多様な働き方と暮らしの充実が実感できる環境の実現を目指し、取組を推進します。

主な指標等

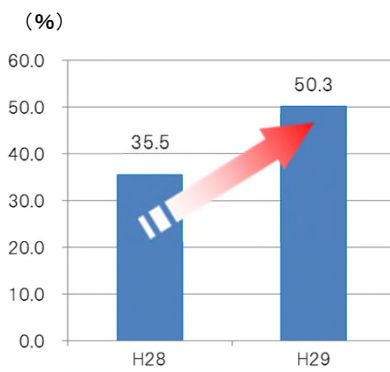
【年齢別(5歳階級)女性の就業率】



H22からH27にかけて、女性の就業率は、

増加基調

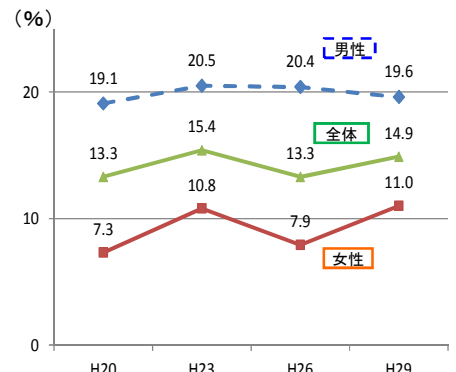
【働き方改革に取り組む企業(従業員数31人以上)の割合】



H28からH29にかけて、働き方改革に取り組む企業の割合は、

14.8ポイント増加

【社会全体における男女の地位が平等だと感じる人の割合】



H20からH29にかけて、社会全体における男女の地位が平等だと感じる人の割合は、

横ばい

主な実績

● 女性の活躍促進への取組支援

- 国のマザーズハローワーク等と一体的に運営する「わーくわくママサポートコーナー」を設置し、結婚・出産・育児等の理由で離職している女性の再就職を支援 [広島: H24.3~、福山: H27.1~] 就職者数: **254**人 [H30]
- 女性の就業継続や管理職登用を促進するための研修やセミナー等を実施 参加者数: **789**人 [H30]

● 働き方改革の推進

- 優良事例を見える化するため、県内経済団体が創設した「**広島県働き方改革実践企業(認定制度)**」と連携し、優良事例を情報発信 発信件数: **166**件 [H30]
- 企業経営者等の行動を後押しするため、「**イクボス同盟ひろしま**」の枠組みを活用し、働き方の見直しを促す活動を推進 参加人数: **155**人 [R元.6]
- 企業の取組度合に応じた「**きめ細かな働き方改革の個別支援**」を実施 [H30]



● 働き方改革・女性活躍の一体的推進

- 「**働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま**」を発足し、経済団体・労働団体・行政機関などの関係機関が一丸となって企業の取組の促進や県内企業の機運を醸成 [H28.10]
- 誰もが働きやすい職場づくりや男性の家事・育児参画の機運醸成を目的とした「**ファザーリング全国フォーラムinひろしま**」を初めて開催 2日間延べ来場者: **680**人 [H30.9]
- 県内の働き方改革及び女性活躍の優良事例を発信する専用サイト「**Hint!ひろしま**」を開設 [H29.10]

● 男女共同参画の推進

- 「**広島県男女共同参画基本計画(第4次)**」の策定 [H28.3]

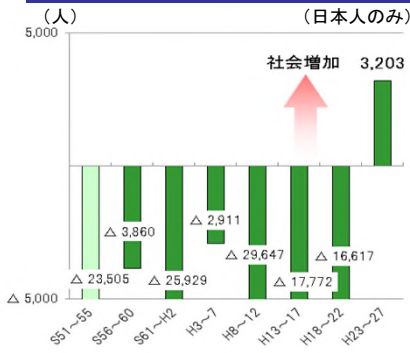
ポイント

東京圏で高まりつつある地方移住の機運を取り込み、広島県の魅力にひかれ国内外から人が集まるとともに、広島県で育った人が県内に定着できるよう環境の整備を進めています。

人口流出の主な要因である、若者(15歳~24歳)の転出入の状況は、県外への転出超過が続いていますが、引き続き、県内外からの県内大学入学者確保や、新卒大学生のUIJターン就職の促進などの対策を進めていきます。

主な指標等

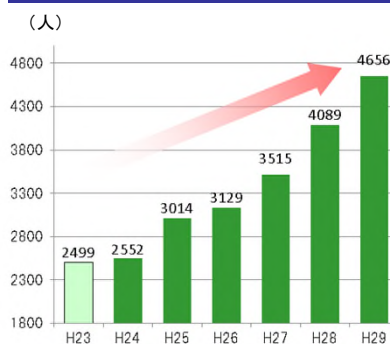
【社会動態】



国勢調査ベースでの社会動態は、

40年ぶりの社会増加

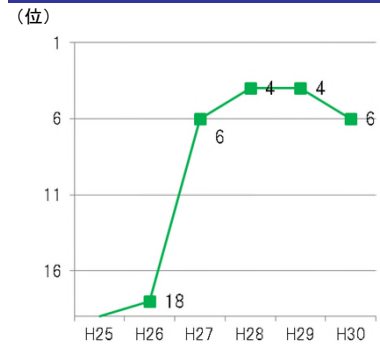
【県内大学等の外国人留学生数】



H23と比べて、外国人留学生数は、

2,157人増

【ふるさと回帰支援センター(東京) 移住希望地域ランキング】



移住希望地域ランキングは、

上位を維持
(西日本1位)

主な実績

● 県内高等教育機関の魅力向上

- 県内大学の魅力の情報発信 [H24~]
大学情報ポータルサイトの運営、県外での大学説明会への参加など、効果的に県内大学の魅力を発信
- 県内全大学共用のサテライトキャンパス
の開設 [H25.4]

● 東京圏等から広島への定住促進

- 東京圏における定住相談窓口の設置 [H26~]
- 認定NPO法人ふるさと回帰支援センターによる
移住希望地域ランキング2018:6位
- 相談窓口における相談件数:**9,947**件[H26~H30]
- 移住実績:**222**世帯[H26~H30]

● 外国人留学生の受入の強化

- 広島県留學生活躍支援センターの開設 [H23.4]
大学等と連携し、受入から地域生活、就職までを一貫サポート
企業説明会参加県内企業数:**596**社 [H23~H30]
県内企業インターンシップ参加留学生数:**496**人[H23~H30]

● 新卒大学生のUIJターン就職の促進

- 就活応援サイト「Go!ひろしま」による情報発信 [H27.10~]
新卒大学生向け求人情報、就活支援情報や県内企業情報、広島で働き、暮らす魅力などをワンストップで発信
- 県外大学との就職支援協定締結
17大学・短大 [H24~]
- **1・2年生対象サマーワークショップ**の開催
企業訪問、先輩社会人との交流などによるUIJターン就職意識の醸成
参加学生:**147**人[H28~H30]

ポイント

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正を受けて策定した「広島県 教育に関する大綱」に基づき、乳幼児期から大学・社会人までを見据え、学校・家庭・地域、さらには経済界や産業界も含めたオール広島県で、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造することのできる人材を育成していくため、本県の先進性や特色を生かした教育を積極的に推進していきます。

主な指標等

【小中学校の学力】

全国学力・学習状況調査結果

(平均正答率：%)

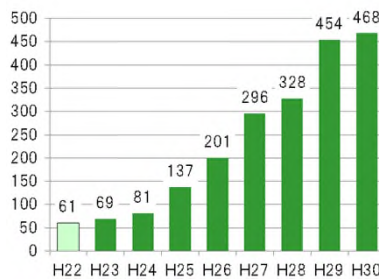
区分	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学6年	県 (トップ県との差) 73.9 (△5.2)	69.4 (△4.0)	64.8 (△5.4)	68.8 (△5.2)	67.0 (△4.3)	67.0 (△2.3)	66.5 (△3.7)	63.0 (△3.0)
中学3年	県 (トップ県との差) 62.5 (△6.4)	62.8 (△5.8)	63.6 (△4.6)	65.0 (△5.0)	62.7 (△4.3)	62.9 (△4.1)	65.8 (△5.7)	62.3 (△4.7)

※H23は東日本大震災により実施していない。
※H22、H24は抽出調査

【留学者数】

高等学校段階での留学者数

(人)



【小中学校の体力】

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

(体力合計点)

区分	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学男子	55.10 (△3.20)	55.29 (△3.38)	55.53 (△2.21)	55.90 (△1.97)	55.95 (△1.79)	56.29 (△1.25)	56.47 (△1.45)	56.57 (△1.09)
小学女子	55.82 (△4.14)	56.27 (△3.68)	56.59 (△2.76)	57.14 (△2.30)	57.38 (△2.51)	57.99 (△1.46)	57.82 (△2.22)	58.20 (△1.95)
中学男子	42.34 (△3.60)	42.70 (△3.30)	43.31 (△2.38)	43.49 (△2.34)	43.67 (△1.81)	43.66 (△1.94)	43.87 (△2.02)	44.23 (△1.27)
中学女子	48.85 (△4.14)	49.56 (△4.61)	50.13 (△2.87)	50.45 (△2.69)	50.91 (△2.81)	51.44 (△2.50)	51.87 (△2.41)	52.46 (△2.48)

※H23は東日本大震災により実施していない。

H22と比較して、全国トップ県との差は、

縮小

H22と比較して、留学者数は、

約7倍

H22と比較して、全国トップ県との差は、

縮小

主な実績

● 乳幼児期の教育・保育の充実

- 乳幼児教育支援センターの設置 [H30.4]
県庁内にセンターを設置し、家庭教育や教育・保育施設への支援などの施策を総合的に実施

● 「主体的な学び」を促す教育活動

- 課題発見・解決学習の推進 [H27~]
「主体的な学び」を促進するため、総合的な学習の時間をはじめ、各教科等の学習において、「課題発見・解決学習」を推進
- 異文化間協働活動の推進 [H27~]
グローバル・マインドや実践的なコミュニケーション能力の育成に向け、小学校段階からの系統的な「異文化間協働活動」を推進
- 個別最適な学びの実現に向けた研究 [H31~]
個人の進捗や能力・関心に応じた学びの場づくりや、異年齢・異学年集団での協働学習の促進等に向けた調査研究に着手

● 地域ぐるみの子供たちの健全育成

- 「学びのセーフティネット」の構築 [H30~]
家庭の経済的事情等に関わらず、全ての子供の能力と可能性を最大限高められる教育の実現を目指して、小学校低学年からの学力向上対策や相談支援体制等の強化に取り組むとともに、大学等進学時に係る経済的負担軽減のための給付制度による支援を実施
- 「朝ごはん推進モデル事業」の開始 [H30.11~]
子供の能力や可能性を高めるために必要な生活習慣を身につけるため、小学校の敷地内において朝食を提供する取組をモデル的に実施

● 更なる教育環境の充実

- 広島県・広島市が共同で整備する、従来の定時制・通信制課程の枠組みに捉われない「広島みらい創生高等学校」の開校 [H30.4開校]
- 「学びの変革」を先導的に実践する、「広島叡智学園中学校・高等学校」の開校 [H31.4開校]
- 県立高等学校の再編整備4件の実施 [H31.4開校・設置]
 - ・ 三次高等学校内に県立中学校を新設し、併設型中高一貫教育校を開校
 - ・ 庄原格致高等学校普通科に「医療・教職コース」を設置
 - ・ 吉田高等学校の普通科と生活福祉科を「探究科」へ学科改編
 - ・ 広高等学校(定時制課程)及び呉三津田高等学校(定時制課程)を募集停止し、呉工業高等学校(定時制課程)に、新たに「キャリアデザイン科」を設置
- 県立広島大学に経営専門職大学院(MBA)を開設 [H28.4]

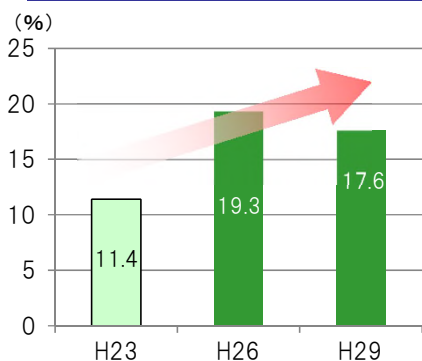
ポイント

県民が人権尊重の意識を高め、互いに人として尊重し合う社会づくりを進めるとともに、高齢者が社会参画できる環境づくりや、障害者の雇用・就労の促進など、年齢や障害の有無等にかかわらず、全ての県民が活躍できる環境の整備に取り組んでいます。

また、地域社会の活性化に向け、行政だけでなく企業やNPO、地域住民など多様な主体が相互に連携して活動できる環境の整備や行政との「協働」を推進する仕組みづくりを引き続き進めていきます。

主な指標等

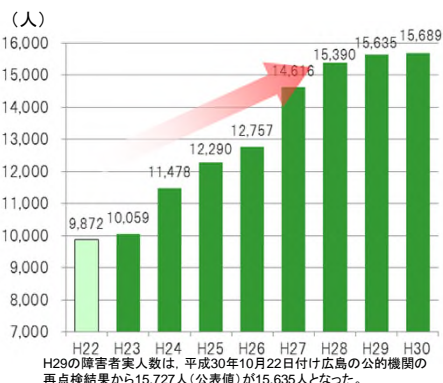
【65歳以上の社会活動参加率】



H23と比較してH29の社会活動参加率は、

6.2%増加

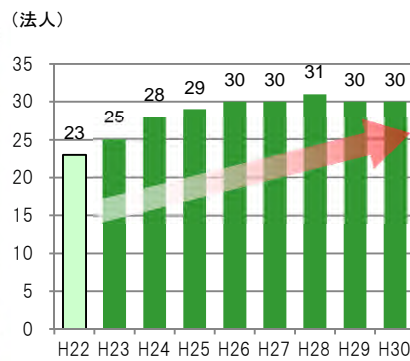
【雇用されている障害者実人数】



H22から8年間で、雇用されている障害者実人数は、

5,817人増

【県内の人口10万人当たりのNPO法人数】



H22からH30にかけて、

増加傾向

主な実績

● 人権施策の推進

- 人権尊重の理念を普及し理解されるよう、**スポーツチームと連携**した啓発事業を実施 [H22～]



● 障害者の雇用・就労

- **障害者就職面接会**の開催
参加企業数: **1,668社**, 参加求職者数: **5,740人**
内定者数 **1,032人** [H22～H30]
県内企業の障害者実雇用率: **1.83%** [H22] ⇒ **2.16%** [H30]
- **ひろしま障害者雇用ビジネスモデル**の策定 [H26.12]

● 多様な主体の活躍・協働促進

- 社会的課題の解決に取り組む優れた活動を表彰する「**県民活動表彰**」を実施するとともに、NPOに対する県民の理解・参加を促進するため、「**NPO等の事例発表会**」等を開催 [H23～]
- **14の企業・大学と包括連携協定**を締結 [H21.10～] 協定締結企業と連携し、
・「瀬戸内ブランド」商品など、県産食材を活用した商品の企画・販売
・「2016ひろしま総文」とのコラボ商品の開発・販売、PRイベントの開催など、本業の強みを生かした取組や、社会・地域貢献への取組を実施

● 高齢者の社会参画の推進

- 高齢者が地域で活躍できるよう、**プラチナ大学(広島県健康福祉大学校)**を開校運営 [H24～]
- ひろしましごと館において、**高齢者の就業相談**を実施
窓口相談等による高齢者の新規就業者数: **629人** [H22～H30]

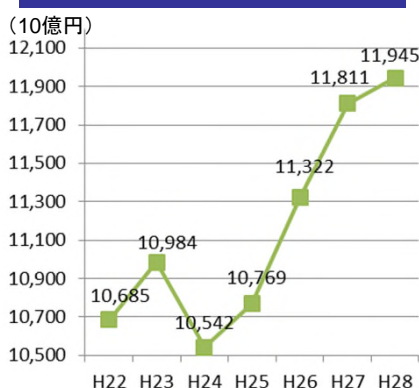
新しい産業が生まれ育ち、社会経済情勢や市場の動向に、柔軟かつ的確に対応できる「イノベーション立県」の実現に向けて取組を進めています。

ポイント

関連指標は改善傾向にあります。県内企業の更なる競争力向上のため、成長産業の育成、イノベーションの原動力となる人材の育成・集積など、県内企業のイノベティブな取組を促進する環境整備に向けた取組を一層強化していきます。

主な指標等

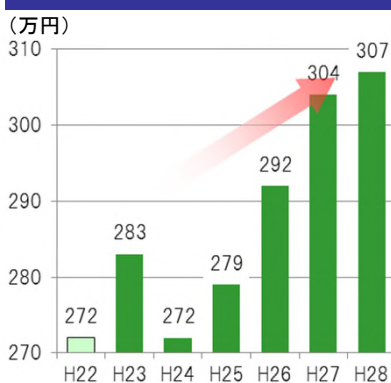
【県内総生産】



H24からH28にかけて、

年々増加

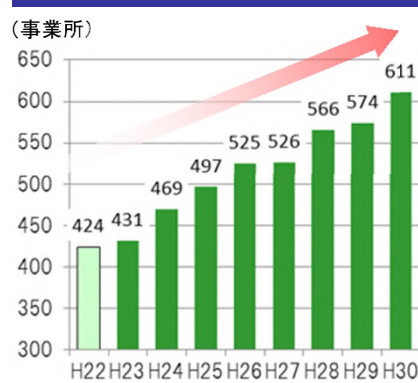
【1人あたり県民所得】



H22と比較して、

12.9%、35万円増

【県内に本社を置く企業の海外事業所数】



H22からH30にかけて、

着実に増加

主な実績

● イノベーション・エコシステムの構築

- ひろしまイノベーション・ハブ延べ参加人数: **26,758人**
[H25~R元.5]
- 「イノベーション・ハブ・ひろしま Camps」設置 [H29.3]
- 「ひろしまサンドボックス」の構築 [H30.5]
- 「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」の策定 [H30.10]

● 高度人材の育成・集積

- プロフェッショナル人材の正規雇用人数: **488人**
[H27~H30]
- 社員を大学院等へ派遣する企業向け補助金の利用件数: **176件**
[H23~H30]
- 大学院等へ進学する個人向け貸付制度の利用件数: **102件**
[H24~H30]

● 創業・新事業展開の徹底支援

- ひろしま創業サポートセンター創業実績: **2,048件** [H25~H30]
- オール広島創業支援サミットの開催 [H27.12]

● 多様な投資誘致の促進

- 県内企業の留置件数及び県外企業の誘致件数: **57件** [H30]
- 本社・研究開発機能等の移転・拡充: **14件** [H30]

● 成長産業の育成支援

【医療関連】

- 医療機器等生産額: **285億円** (対前年+40億円) [H30]
- 医療機器等製造企業数: **62社** (対前年+3社) [H30]

【環境関連】

- 環境関連産業の売上高: **1,546億円** (対前年+181億円) [H30]

● ものづくり技術の高度化

- ひろしま航空機産業振興協議会の設置 [H26]
129社・27機関が参画 [R元.6現在]
- ひろしま感性イノベーション推進協議会の設置 [H26]
149社・42機関が参画 [R元.6現在]

● 海外ビジネスの拡大

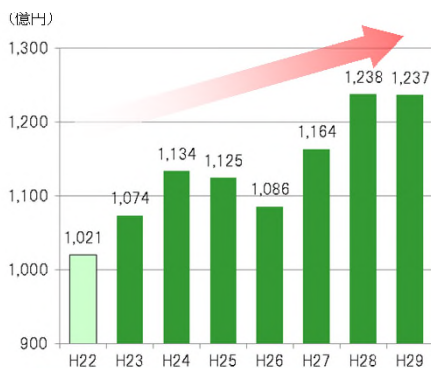
- 食品の海外売上高増加額: **61.9億円**増 (対H25比) [H30]
- 消費財等の海外売上高増加額: **103億円**増 (対H25比) [H30]

ポイント

2020年の産出額目標を、農業分野で1,200億円、水産業分野で290億円とするなど、アクションプログラムを策定し、経営力の高い担い手等の育成を支援するとともに、収益性の高い園芸作物への転換や、レモン、かき等市場のニーズが高い製品の販売拡大等を通じて、自立可能な農林水産業の実現に向けた取組を進めています。

主な指標等

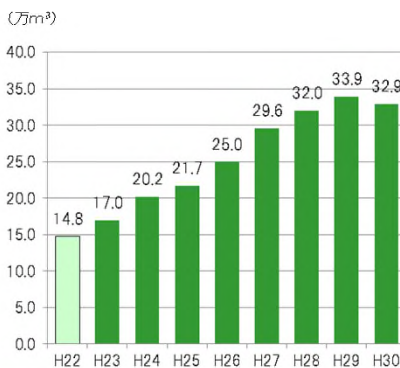
【農業産出額】



H22と比較して、農業産出額は、

21.2%、216億円増

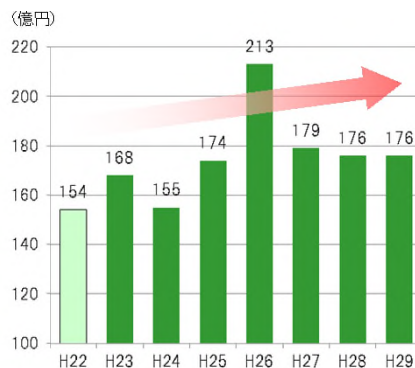
【木材生産量(スギ・ヒノキ)】



H22と比較して、木材生産量は

2.2倍、18.1万m³増

【かき生産額】



かき生産額はH22以降

増加基調

主な実績

● 経営力の高い担い手を育成・支援

- 新規就農者数: **1,327人** [H22~H30]
- 担い手経営面積: **+2,645** ㎡増 [H22:10,452㎡ ⇒ H30:13,097㎡]
農業法人の育成、大規模農業団地の形成、施設設備に向けた支援等
- 農業経営体の発展段階に応じた支援の実施
 - ・ひろしま農業経営者学校 研修修了者: **延べ458人** [H23~H30]
 - ・企業経営への転換を目指す担い手に対し
 - ・**専門家チーム**により経営課題の解決を支援 [H30~]

- 大規模な参入意向のある県内食品関連企業等に対し、先進農業企業との連携による**農業参入**を支援[H30~]



ひろしま農業経営者学校

● 農林水産物の生産・販売を支援

- 生産者の販路拡大を応援する



広島県産応援登録制度 登録商品: **延べ339**商品 [H26~H30]
商談会の開催によるマッチング等の販売力強化

- 担い手による**レモンの生産拡大**に向けて



生産基盤整備を推進、
レモン生産を開始[H28~]

- 実用化に向けた**戦略的な研究**の実施

- ・**レモンの周年供給**に向けた**貯蔵技術**の確立 [H27実用化]
- ・**生食用殻付かき**の安定生産に向けた**浄化技術**の開発[H27~H29]
- ・**広島和牛受精卵**の受胎向上に向けた**凍結技術**の開発[H30実用化]

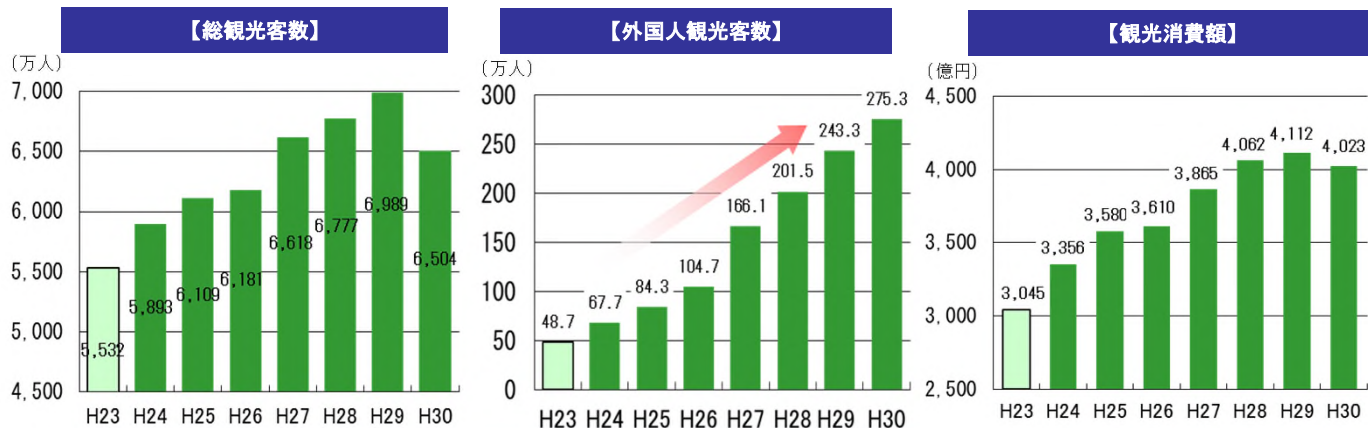
- 県産材の需要拡大に向けた

県産材利用協定を住宅メーカー**86**社と締結 [H27~H30]
原木**44,800**m³を住宅等へ利用 [H30]

ポイント

「ひろしまブランド」や「瀬戸内ブランド」が確立され、国内外から訪れる多くの人々に感動と癒しを与えるとともに、県民にとっても世界に誇れる観光地となるよう取組を進めています。また、国内外からの観光客数の増加と、日帰り客を宿泊客にシフト(特に消費額単価の高い外国人宿泊客を増加)させること等による観光消費額単価の上昇により、観光消費額の増大に向けた取組を実施します。

主な指標等



豪雨災害の影響により大きく減少したものの
12月には前年の水準を上回るまで回復

H24から
7年連続過去最高
を更新

豪雨災害の影響があったものの、H28から
3年連続4,000億円
を突破

主な実績

● 豪雨災害からの復興

- ▶WEBIによる正確な情報発信[H30年8月～]
- ▶13府県ふっこう周遊割による宿泊支援
 - ・利用実績：**6.7万人**[H30年8月末～H31年1月末]
- ▶広域復興キャンペーンの実施(中四国各県や広域DMOとの連携)
 - ・広告換算額：**1.3億円**[H30年11月～H31年3月]

● 情報発信の強化

- ▶観光プロモーションの実施
 - 「おいしい！広島県」キャンペーン [H24.3～H26.7]
 - 「泣ける！広島県」キャンペーン [H26.7～H27.6]
 - 「カンパイ！広島県」キャンペーン [H27.6～]
- ・メディア露出：**82億円**以上(広告換算額)[H24.3～]
- ・WEBサイトPV数：**2,651万**件以上[H24.3～]
- ・関東からの観光客が大幅に増加:507万人[H23]⇒**685万人**[H30]



● 満足度向上に向けた取組

- ▶広島県「みんなでおもてなし宣言」[H26.8～]
31,367人、1,391企業・団体等 [H31.3現在]
- ▶広島県地域通訳案内士の育成 [H30～]
広島県地域通訳案内士登録者数：**75人** [H31.3現在]



● 国際観光の推進

- ▶国別外国人観光客数(重点11市場)
- | | | |
|--------|------------|----------------------|
| 米国 | :64千人[H23] | ⇒ 370 千人[H30] |
| 豪州 | :41千人[H23] | ⇒ 208 千人[H30] |
| フランス | :24千人[H23] | ⇒ 159 千人[H30] |
| イギリス | :26千人[H23] | ⇒ 135 千人[H30] |
| ドイツ | :14千人[H23] | ⇒ 107 千人[H30] |
| 台湾 | :22千人[H23] | ⇒ 257 千人[H30] |
| 中国 | :44千人[H23] | ⇒ 181 千人[H30] |
| 香港 | :3千人[H23] | ⇒ 133 千人[H30] |
| 韓国 | :28千人[H23] | ⇒ 105 千人[H30] |
| シンガポール | :4千人[H23] | ⇒ 77 千人[H30] |
| タイ | :8千人[H23] | ⇒ 35 千人[H30] |

ポイント

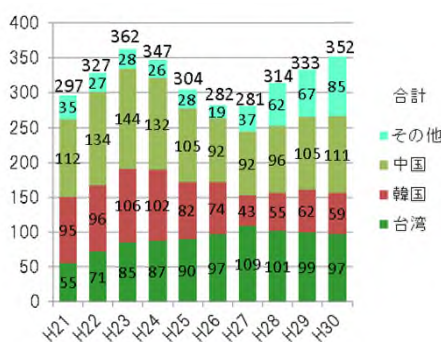
中四国地方における拠点空港である広島空港や、国際海上コンテナ輸送網の拠点である広島港、福山港等のグローバルゲートウェイ機能の強化に取り組むとともに、産業活動や、県内外の連携、地域間交流を支える基盤整備を進めてきました。

引き続き、グローバル化に対応した広域的なネットワークの強化などに取り組みます。

主な指標等

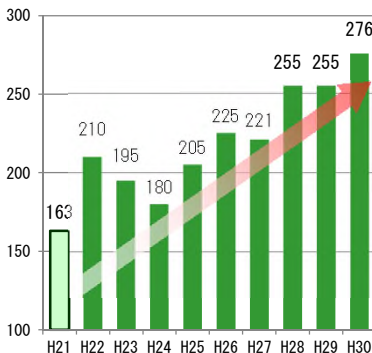
【広島空港国際旅客数】

(千人)



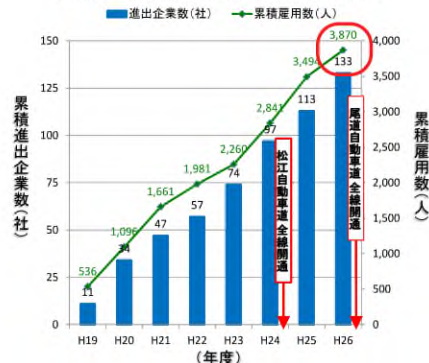
【広島港貨物コンテナ取扱量】

(千TEU)



【広域交通ネットワークの確立】

沿線の企業進出・雇用者数の変化状況



広島空港国際旅客数が、

7年ぶりに35万人超

H21以降、広島港貨物コンテナ取扱量は、

69% (約113千TEU) 増加

尾道松江線沿線地域において
企業進出と雇用者数が着実に増加

主な実績

● 広島空港の拠点性強化

- 国際定期線: 6路線28便/週 [H30.8~]
広島~シンガポール線の就航 [H29.10~]
- 運用時間を延長した時間帯の活用により、
広島~東京線増便 [H29.10~]

● 広島港の物流拠点機能の強化

- 宇品地区の岸壁増深・耐震化 [H27~]
- 廿日市地区の大型LNG船ターミナル供用開始 [H28.1]
- 廿日市草津線(4車線化)第1期供用開始 [H29.2]
- 海田地区のガントリークレーン3号機供用開始 [H30.6]

● 福山港の物流拠点機能の強化

- 台湾・東南アジア航路開設 [H26~]
- 韓国航路増便 [H26~]
- 箕島・箕沖地区の大水深岸壁整備 [H31.3~]

● 広域道路ネットワークの拡充

- 広島市2時間交通圏: 545万人 [H23] → 555万人 [H27]
- 県内80分交通圏: 266万人 [H23] → 268万人 [H27]
- 高速道路IC20分交通圏: 253万人 [H23] → 276万人 [H27]
- 広島空港2時間交通圏: 633万人 [H23] → 644万人 [H27]

11

医療・介護

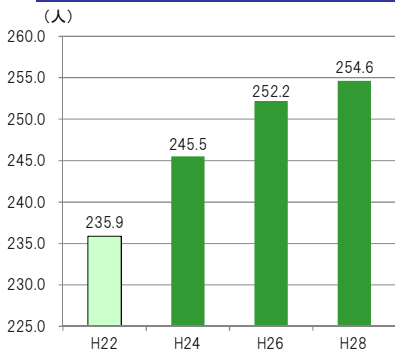
ポイント

県内のどこに住んでいても、安心できる医療・介護サービスを受けられることを目指し、医療・介護の人材確保や拠点整備、地域包括ケア体制の構築等、幅広い取組を行っています。

今後急増する医療・介護需要に的確に対応していくため、それぞれの地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携を進めるとともに、切れ目ないサービス提供体制の充実強化を推進していきます。

主な指標等

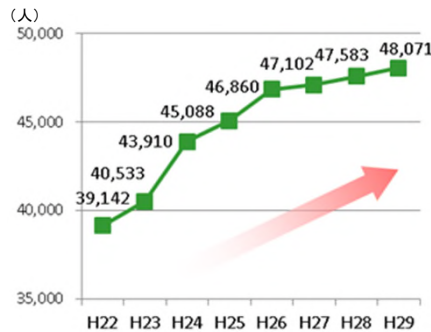
【県内医師数(10万人対)】



H22からH28にかけて、医師数は、

着実に増加

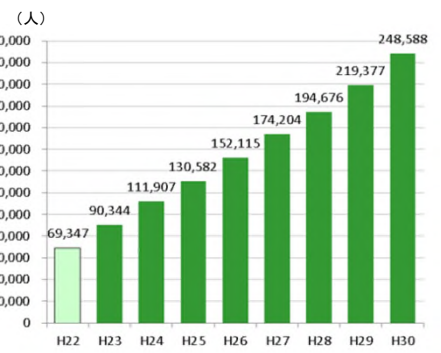
【県内介護従事者数】



H22からH29の7年間で、介護従事者数が、

約23%増加

【認知症サポーター養成数】



H22から8年間で、サポーター数は、

179,241人の増

主な実績

● 県内医療体制の充実

- 「広島県保健医療計画(第7次)」の策定 [H30.3]
本県の保健医療施策の基本計画
- 「広島県地域医療構想」の策定 [H28.3]
地域における病床の機能の分化及び連携を推進するための将来の医療提供体制に関する構想の策定
- 広島県地域医療支援センターの設置・運営 [H23.7~]
医師不足解消に向けた医師のあっせん・確保・配置調整、女性医師支援
- ひろしま医療情報ネットワーク [H25.4~]
医療情報共有化で重複検査等解消 参加施設数 749施設[H31.3]
- 認知症疾患医療センターの設置 [H22~]
認知症に関する専門医療医相談や、鑑別診断等を行うセンターを二次保健医療圏ごとに設置

● 緊急医療体制の確保

- ドクターヘリの運用の開始 [H25.5~]
出動件数: 2,270件 [H25.5~H31.3]
- ドクターヘリ広域連携に係る基本協定を締結
中国地方5県等 [H29.6], 愛媛県 [H30.8]

● 地域包括ケアシステムの構築・強化

- 「ひろしま高齢者プラン(第7期)」の策定 [H30.3]
本県の高齢者施策の基本計画
- 市町の取組を広域的、専門的に支援する**広島県地域包括ケア推進センター**を設置 [H24~]
県内全ての日常生活圏域で地域包括ケアシステムを構築
[H26:21圏域⇒H29:125圏域]

● 介護人材の確保・育成・定着

- 福祉・介護人材確保等総合支援協議会の運営 [H24~]
イメージ向上、人材不足解消に向けた取組、魅力ある職場支援
- 介護福祉士等養成に向け、**修学資金貸付制度**の運用
貸与者数: **1,276**人 [H22~H30]
- 「ケアマネマイスター広島」認定制度の創設 [H24]
優秀な介護支援専門員の顕彰制度 認定者数: **21**名 [H24~H30]

● 医師・看護職員の確保

- 奨学金制度等による地域医療に従事する**医師の養成: 199**人 [H22~H30]
- 広島大、岡山大学医学部での**寄附講座の開設** [広大: H22, 岡大: H25]
- 看護師等の養成(卒後県内就業者数): **11,082**人 [H22~H30]
- ナースバンクを通じた再就職者数: **5,888**人 [H22~H30]

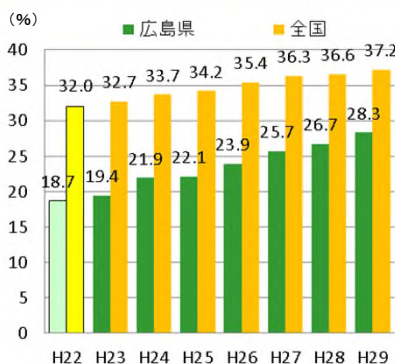
ポイント

健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の予防と早期発見・重症化予防をはじめ、こころの健康の維持・増進や総合的ながん対策等に取り組んでいます。

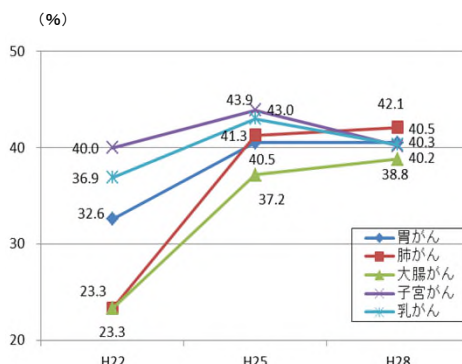
レセプトデータ等の分析結果を活用した保健指導等による生活習慣病予防を推進するとともに、「がん対策日本一」を目指し、県民総ぐるみのがん対策を推進します。

主な指標等

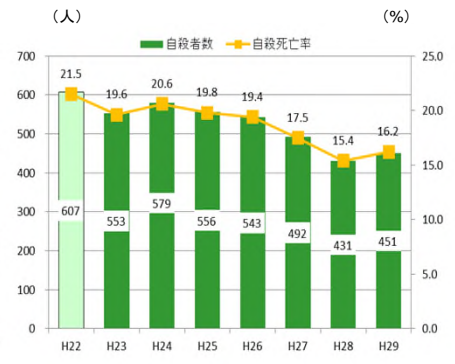
【特定健康診査受診率】



【がん検診受診率(国民生活基盤誌)】



【県内の自殺者の状況】



H22からH29にかけて、市町国保特定健康診査受診率は、

着実に増加

H22と比較して、すべてのがん検診において、

受診率上昇

H22から自殺者数、自殺死亡率は

減少基調

主な実績

● 健康増進の推進

- ひろしま健康づくり県民運動推進会議 [H20~]
ひろしまウオーキングBookの利用促進、季節のレシピ作成等
- 口腔保健支援センターの設置 [H24.3]
歯と口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発、情報提供等
- 職域出前講座推進事業等による**禁煙・受動喫煙防止**の普及啓発
- 「健康ひろしま21(第2次)」の改定 [H30.3]
県民が健康づくりを推進するための基本方針

● 疾病予防の充実

- 感染症・疾病管理センターの開設 [H25.4]
県民、関係機関に対する感染症情報の提供
- 大学病院等関係医療機関で構成する「**広島県感染症医療支援チーム**」を全国で初めて結成[H30.3]

● がん対策日本一の取組

- **がんで死亡する県民の減少**
がんによる75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)
[H22:79.9人 → H29:70.3人(全国17位)]
- **広島がん高精度放射線治療センター**の整備 [H27.10開設]
世界最高水準のノパリス認定を、東アジアで初めて認定 [H29.1]
- 「**Teamがん対策ひろしま**」登録開始
総合的ながん対策に積極的に取り組む企業を登録
登録企業数:82社 [H26~H30]
- **5大がん医療ネットワークの構築** [H24]
患者一人ひとりに最適な医療を提供する連携システム
(5大がん:乳, 肺, 肝, 胃, 大腸)
- 「**広島県がん対策推進計画(第3次)**」の策定 [H30.3]
「予防・医療・がんとの共生」を柱とした、総合的ながん対策を展開

● こころの健康対策の推進

- 「**いのち支える広島プラン**」の改定 [H31.3]
誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現への推進計画
- **県内の自殺者数の減少**
県内の自殺者数 [H22:607人 → H29:451人]

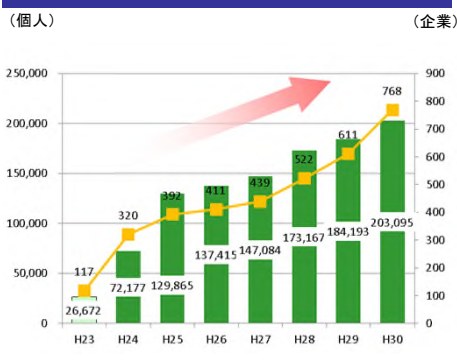
ポイント

高齢者，障害者，子供など，支援を必要とする人が地域で安心して生活できるよう，県民の理解促進や地域で支える体制づくりを推進しています。

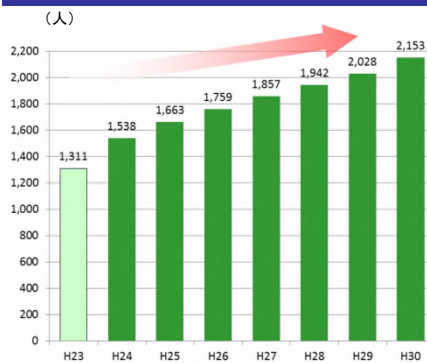
高齢者の生活支援，障害特性に応じた専門的な医療提供体制の整備，ひとり親家庭の自立支援等，地域で暮らしやすい環境の整備を進めていきます。

主な指標等

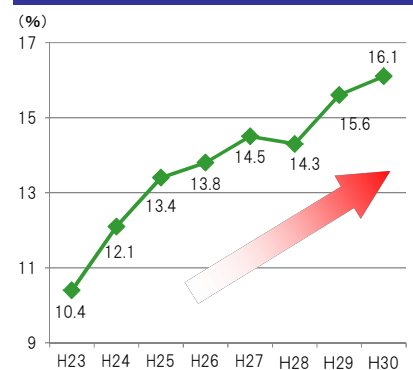
【あいサポート運動サポート企業数等】



【障害者のグループホーム利用者数】



【社会的養護の必要な児童の里親委託率】



H23から7年間で、サポート企業、個人数(累計)は、

177,074の増
※鳥取県と連携

H23から7年間で、利用者数は、

842人の増

H23から7年間で、里親委託率は、

5.7ポイントの増

主な実績

● 障害者の生活サポートの強化

- 「**広島県障害者プラン(第4次)**」の策定 [H31.3]
本県の障害者施策全般に関する基本計画
- **県立医療型障害児入所施設**の整備
わかば療育園，若草療育園，若草園の移転・改修等 [H30～R元実施設計]
- **聴覚障害者センター**の整備 [H28供用]
聴覚障害者の情報・意思疎通支援の拠点施設

● 支援が必要な人を地域で支える仕組みの充実

- **思いやり駐車場制度**の創設 [H23.7]
商業店舗等と連携し，障害者，妊婦等をサポート

思いやり駐車場制度



● 社会的養護の必要な児童への支援体制の充実

- **相談対応機関の強化**
こども家庭センターへの
警察官OBの配置(警察との連携強化) [H25～]
常勤弁護士の配置 [H26～]
- **施設における小規模グループケア**の推進
施設入所児童のうち小規模グループケアで生活する児童の割合: 31.6% [H30年度末]
- **県立広島学園**の整備 [H27.4]
学校教育導入による教育と福祉の連携強化
- **退所児童等アフターケア事業所**の開設 [H28.2]
児童養護施設等と連携した退所児童等のアフターケア

14 環境

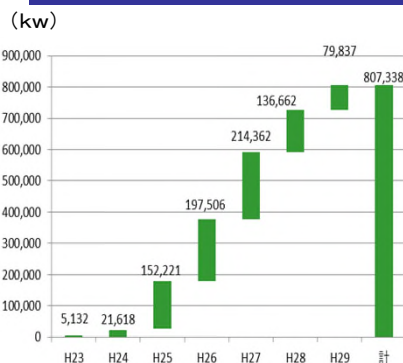
ポイント

平成28年3月に「第4次環境基本計画」を策定し、環境への負荷の少ない持続可能な社会の仕組みの構築に取り組んでいます。

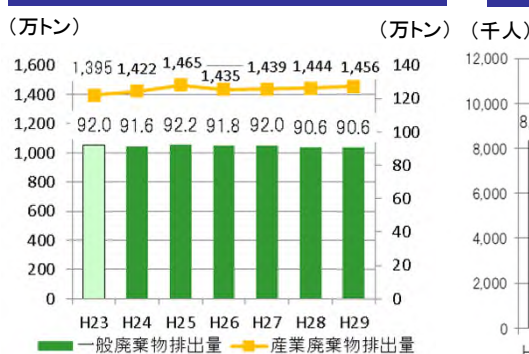
低炭素社会の構築や循環型社会の実現、生物多様性の保全などに加え、環境負荷の少ない社会を支える「人づくり・仕組みづくり」に向け、再生可能エネルギーの普及促進や地域の多様な主体による環境保全活動の推進、自然公園の利用促進などに取り組んでいます。

主な指標等

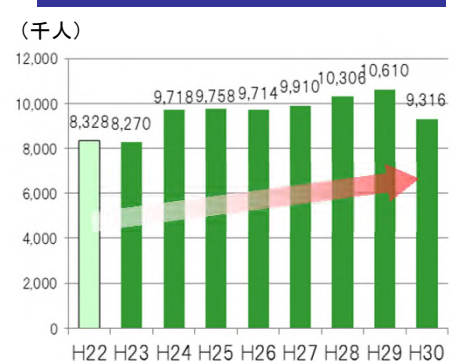
【太陽光発電の設置規模(業務用)】



【一般廃棄物、産業廃棄物排出量】



【自然公園の利用者数】



H23から6年間の設置規模は、

+807,338kw

H23からH29にかけて、

一般廃棄物排出量は、**横ばい**
産業廃棄物排出量は、**横ばい**

自然公園の利用者数はH22以降

増加基調

主な実績

● 低炭素社会の構築

➢ 再生可能エネルギーの普及促進

県有地等に10MW程度の太陽光発電の導入を推進 [H24~]

売電収益を活用し、省エネ設備の導入や地域の省エネ活動を支援

[H29: 6施設6団体, H30: 16施設16団体]

ダムを活用した小水力発電の実施 [H25~]



メガソーラー発電

県有施設に太陽光発電の設置を推進: 115kw, 2施設 [H26~]

➢ 県庁内の取組を推進

低公害車両の積極的導入(電気自動車15台, クリーンディーゼル車5台), 電気自動車の急速充電設備を設置(1台)

➢ 公共施設等への導入促進

防災拠点となる県, 市町への再生可能エネルギー等設備の導入: 756.3kw, 39施設 [H26~H28]

● 生物多様性の保全

➢ 「未来へつなげ命の環! 広島プラン~生物多様性広島戦略」の策定 [H25.3]

● 循環型社会の実現

➢ 産業廃棄物埋立税の活用

廃棄物の排出抑制, リサイクル産業の活性化

廃棄物の適正処理の推進 等

➢ 公共関与による廃棄物処分場の確保

広島港出島地区廃棄物等埋立処分場の受入開始[H26.6~]

● 地域環境の保全

➢ 広域的な大気環境汚染への対応

広島県ホームページによる, PM2.5等の測定結果や発令情報のリアルタイムな公表と注意喚起メールの配信 [H26~]

登録者: 約850人 [H31.4.1現在]

● 人づくり・仕組みづくり

➢ 夏季の省エネ対策として, 県市町施設や商業施設と連携した

ひろしまクールシェアを開始[H24~]

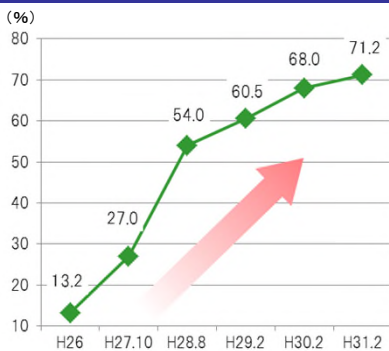
実施施設数: **689**施設 [H30]

ポイント

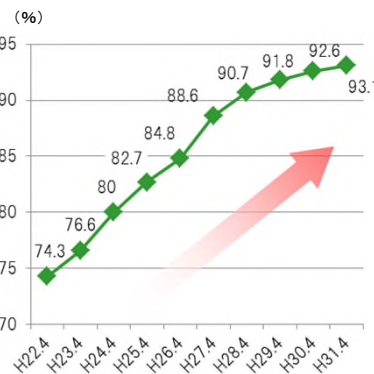
東日本大震災や多発する集中豪雨等による自然災害を踏まえ、想定される被害を軽減させるため、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を展開するとともに、防災拠点施設の耐震化、道路等の公共インフラの機能強化等を進めています。さらに、平成26年8月の広島市における土砂災害や、平成30年7月の豪雨災害も踏まえ、減災の実現に向けて、土砂災害防止施設の整備など、必要な防災対策を着実に実施していく必要があります。

主な指標等

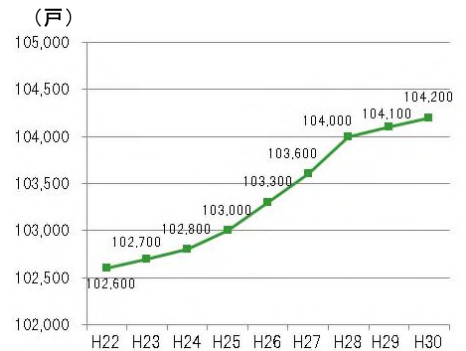
【災害の種類に応じた避難場所・避難経路を把握している県民の割合】



【自主防災組織率】



【土砂災害から保全される家屋数】



H26から5年間で、災害の種類に応じた避難場所・避難経路を把握している県民の割合は、

58.0 ポイントの増

H22.4から9年間で、自主防災組織率は、

18.8 ポイントの増

H22年度末から8年間で、土砂災害から保全される家屋数が

約1,600 戸の増

※国直轄事業を除く

主な実績

● 県民の防災意識の向上

- 「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の推進 [H27~]
- 自主防災アドバイザー等による

自主防災組織の活性化支援 [H24~]

- 地震発生を想定した一斉防災訓練の実施 [H25~]
- 過去の災害から、災害の危険性を学ぶため土砂災害啓発・伝承プロジェクトを推進 [H28~]

● 県・市町の災害対処能力の向上

- 防災情報システムの機能強化 [H22~]
- 市町防災体制の総点検 [H27~]
- 東日本大震災を踏まえた

県地域防災計画、県地震被害想定の見直し

県防災拠点等の機能強化 [H23~]

県庁施設の耐震化

● 公共施設等の耐震化

- 県立学校施設の耐震化：全校（99校）で完了[H27]
- 2次救急医療機関等の耐震化整備：10病院 [H22~H30]



県立学校施設の耐震化

● 土砂災害防止施設等の整備

- 土砂災害から保全される家屋数：約104,200戸 [H30]
- 道路の法面防災の対策箇所数：44箇所 [H30]



土砂災害防止施設等

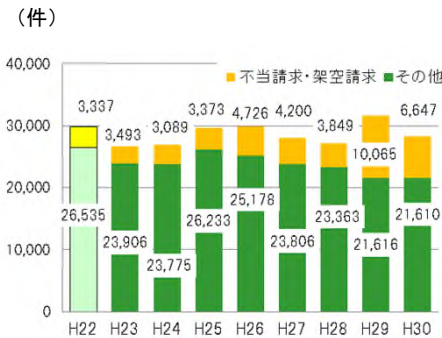
ポイント

「消費者被害のない広島県の実現」を目指して、消費者被害の防止と救済、消費者教育の推進などに取り組んでいます。

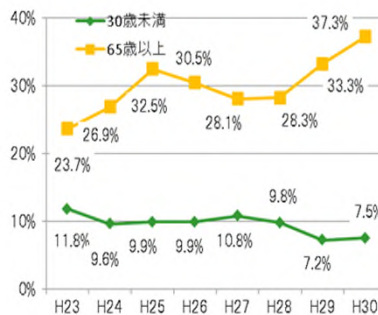
また、食品の安全・安心の確保のため、生産者・事業者・消費者の役割の明確化と連携強化を図り、生産から消費に至る各段階での対策に取り組んでいます。

主な指標等

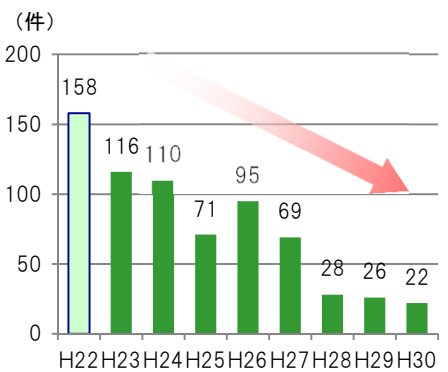
【県内の消費生活相談件数】



【高齢者・若者の相談割合】



【県内の食中毒発生件数】



H22からH30にかけて、消費生活相談件数は、

横ばい

H23からH30にかけて、
高齢者の相談割合は、
若者の相談割合は、

増加基調
減少基調

H22からH30にかけて

食中毒発生件数は、**減少基調**

主な実績

● 消費者被害の防止と救済

- 「広島県消費者基本計画(第2次)」(H27~H31)の策定
次の取組を重点的に実施
 - ・市町相談体制の充実にに向けた支援
 - ・高齢者・若者の消費者被害防止に向けた取組強化
 - ・消費者被害防止に向けた消費者教育の推進
- 市町相談体制の支援を強化するため、
ICTを活用した共同相談対応等を実施 [H26~]

● 農林水産物の安全・安心の確保

- 「ひろしま地産地消推進県民条例」の制定 [H23.3~]
- 「広島県GAP実践の手引」の策定 [H29.11]

● 食品の安全・安心の確保

- 「食品の安全に関する基本方針及び推進プラン」の策定
- **食品の監視指導や試験検査**の強化
監視指導計画に基づく監視指導実施
年間立入検査件数：
計画24,800件 実施25,105件 実施率101.2% [H30]
年間試験検査件数：
計画4,200件 実施4,306件 実施率 102.5% [H30]
- **BSE検査**の実施
対象となる牛全頭を検査
(H29から健康牛の検査は廃止)



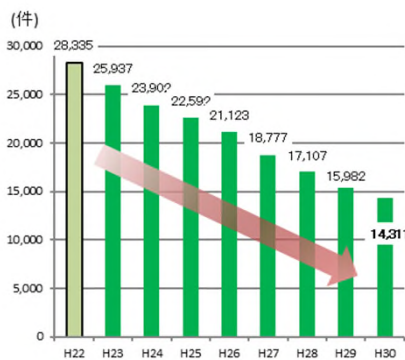
17 治安

ポイント

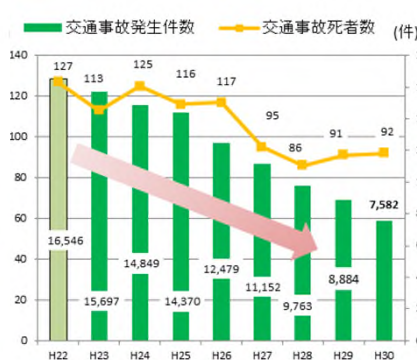
多様な主体との協働・連携による「安全・安心なまちづくり」と「安全・安心をもたらす警察活動」を両輪とした取組により、刑法犯認知件数・交通事故死者数は総じて減少しています。一方で、子供の安全確保、性犯罪・DV・ストーカーなど女性が被害に遭う犯罪、高齢者が被害者となる特殊詐欺事件又は当事者となる交通事故等の現状を踏まえ、「アンダー80作戦」を推進するなど、更なる治安向上の取組を進めていきます。

主な指標等

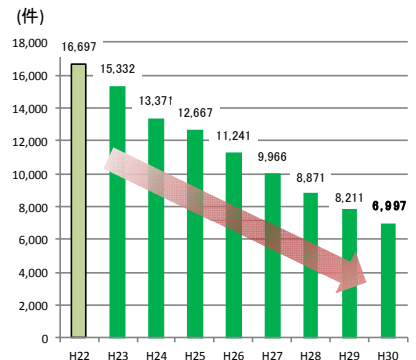
【刑法犯認知件数】



【交通事故発生状況】



【身近な犯罪認知件数】



H22から8年間で、刑法犯認知件数は、

14,024件の減少

H22から8年間で、交通事故死者数は

35人の減少

H22から8年間で、身近な犯罪認知件数は、

9,700件の減少

主な実績

● 多様な主体の協働・連携による「安全・安心なまちづくり」

- 刑法犯認知件数が、**戦後最少記録を更新** [H30] (前年比 **10.5%**減少)
- 特殊詐欺被害総額を**アンダー5作戦**の目標である**5億円以下**に抑止[H30]
- **平成15年以降連続**で交通事故発生件数が減少(7,582件)[H30](H14比**66.1%**減少)
- スクールサポーターの派遣による「**安全に安心して学べる学校づくり**」の推進
- **タイムリーな情報発信**, 防犯ボランティア等による**自主防犯活動の促進**
- 関係機関・団体との協働による**交通安全教育・広報啓発**の推進
- 官民一体となった連携等強化のため**広島県テロ対策パートナーシップ推進会議を設立**[H30.9]



災害捜索活動

● 安全・安心をもたらす警察活動

- 広島東警察署の移転整備に伴う**広島市域における一行政区一警察署体制**の実現
- 凶悪犯罪等の**重要犯罪の徹底検挙**
 - 悪質・危険な交通違反に対する**交通指導取締りの強化**
- サイバー犯罪相談専用電話の設置などの**サイバー空間の安全の確保に向けた取組の推進**
- 今後発生し得る大規模災害及び緊急事態に対する対処能力強化等のため**警備部危機管理課を新設**[H31.4]
- **平成30年7月豪雨災害に係る事態対処及び捜索活動等**



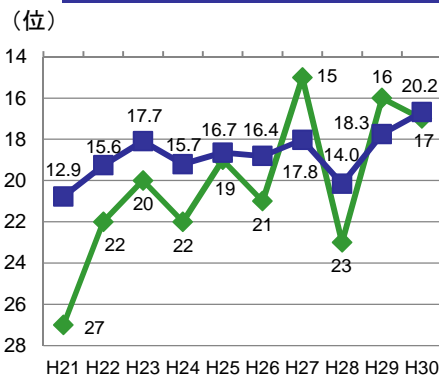
ポイント

地域の特性や資源を生かした地域の価値を高める様々な活動による地域ブランドの確立や、地域全体のイメージアップと個々の有益な地域資産の価値向上に取り組んでいきます。

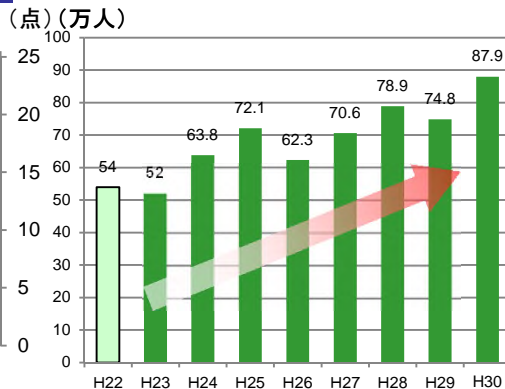
また、優れた文化・芸術やスポーツに身近に接する機会の拡充や、機能的で魅力的な都市の形成など、本県の魅力の創出に向けた取組を推進します。

主な指標等

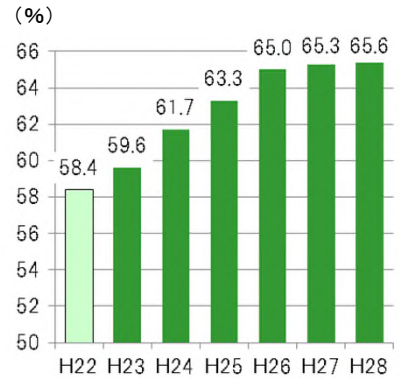
【都道府県魅力度ランキング】



【県立美術館及び縮景園入館(園)者数】



【街路改良率】



都道府県魅力度ランキングの全国順位(点数)は、H21と比べて

10位(7.3点)上昇

県立美術館及び縮景園入館(園)者数はH22以降

増加基調

H22と比べて、街路改良率は

7.2 ポイント増

主な実績

● 「ひろしま」ブランドの価値向上

➢ 「ひろしま」ブランドの価値向上に向けた取組方針

の策定 [H26.2]

4つのコンセプト(「自然と都市が融合した暮らし」、「平和への希望が集う場所」、「内海と山々が織りなす食文化」、「創造性あふれる次世代産業」)に基づき、「**地域全体のイメージアップ**」と

「**個々の有益な地域資産の価値向上**」を推進

➢ 首都圏でのブランド発信拠点「TAU」での情報発信

売上実績: 約**10.6億円**[H30]

来店者数: 約**96万人**[H30]

報道件数: **1,872件**[H30] 広告換算額: 約**33億円**[H30]



➢ 販路開拓 成約件数: **113件**[H30]

● 文化・芸術・スポーツに親しむ環境の充実

➢ 県立美術館における特別展

「**ジブリの大博覧会～ナウシカからマニーまで**」展 開催[H30]
(入館者数29万6千人)

➢ 縮景園全体の入園者数 **30万4千人**(過去40年間で最大)[H30]

● スポーツを核とした地域づくり

➢ 第2期広島県スポーツ推進計画の策定 [H31.3]

スポーツを通じた地域・経済の活性化など4つの政策目標を設定

➢ 県内9市町において、**12競技のメキシコ選手団による事前合宿**を受入 [H30]

● 広島市との連携による都市圏の魅力向上

➢ ひろしま都心活性化プランの策定 [H29.3]

➢ 広島市都心部の活性化に向けた連携事業の実施 [H27～]

● 魅力的な水際の活用

➢ 瀬戸内海クルージングポータルサイトの開設 [H25.4～]

➢ 厳島港宮島口地区港湾整備事業着工 [H25.9]

● 大規模市街地再開発の進展

➢ 広島駅南口 **Bブロック**: 工事完成 [H28.8]

➢ 広島駅南口 **Cブロック**: 工事完成 [H29.1]

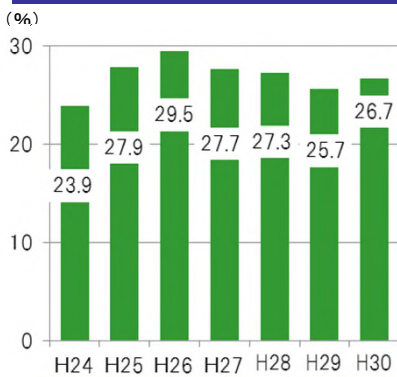
ポイント

世界に誇れる「瀬戸内」が、国内外の人々に認知されるとともに、幾度となく訪れてみたい場所として選ばれるよう、瀬戸内ブランドの形成に向けた取組を進めています。

平成28年4月に事業開始した(一社)せとうち観光推進機構において、マーケティングに基づいた国内外へのプロモーションや瀬戸内の魅力を体感する環境整備、観光関連サービス、地域産品などのプロダクトの開発に取り組みます。

主な指標等

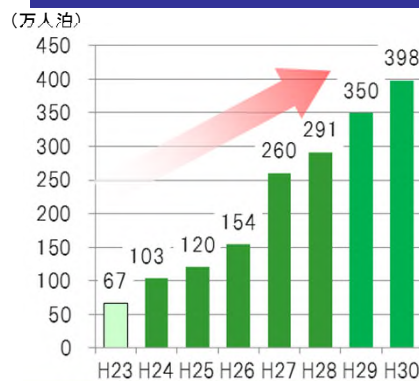
【首都圏・関西圏における瀬戸内への強い来訪意向を持つ人の割合】



H24と比較して、

2.8%増

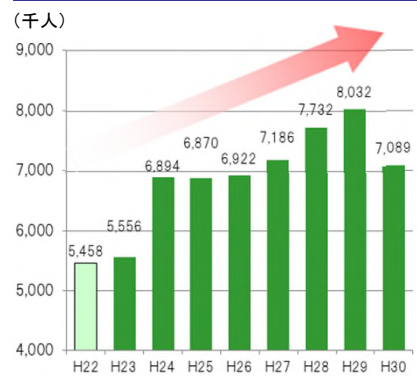
【瀬戸内7県の外国人延宿泊者数】



H23からH30にかけて

着実に増加

【瀬戸内海国立公園の利用者数】



H22から

増加傾向

主な実績

● 瀬戸内海の道構想の推進

- 「瀬戸内海の道構想」の策定 [H23.3]
- 7県で「瀬戸内ブランド推進連合」を設立 [H25.4]
構成県: 兵庫, 岡山, 広島, 山口, 徳島, 香川, 愛媛
- “せとうち・海の道”ルートが「広域観光周遊ルート」に認定 [H27.6]

- せとうちDMOの発足 [H28.3]
「瀬戸内ブランド推進連合」を

「一般社団法人せとうち観光推進機構」に発展改組し、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションと連携して事業開始

- 日本版DMOに登録 [H29.11]
- サイクリングしまなみ2018

の開催[H30.10] 参加者数: **7,215**人

- 瀬戸内サイクリングロード
しまなみ海道自転車通行料 無料化の
1年間の延長 [R2.3.31迄]



● 瀬戸内海クルージングの促進

- 広島港客船誘致・おもてなし委員会の設立 [H26.4]
- 宮島ビジターバス供用開始 [H26.8]
- 五日市岸壁での受入環境整備 [H27.3]
- クルーズ船の誘致・受入

クルーズ船入港回数(1万トン以上):

15回 [H26] ⇒ **32**回 [H30]

● 魅力ある農林水産物のブランド化

- 品質管理を強化した高品質かきの安定供給に向けた取組 [H25~]
かき生産額: 154億円 [H22] ⇒ **176**億円 [H29]
- 周年供給が可能な長期貯蔵技術の確立 [H27実用化]
レモン生産額: 8.6億円 [H22] ⇒ **16.7**億円 [H29]

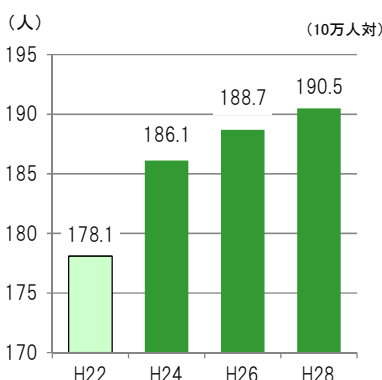


ポイント

活力ある中山間地域の実現に向け、日常生活を支える医療や交通インフラ等の確保や基幹産業である農業をはじめとする地域産業の振興など、幅広い取組を進めています。人口減少や少子高齢化が進展する中で、様々な課題を抱える地域の対策について、中山間地域振興計画(平成26年12月策定)に基づき、一層、総合的な対策を進めていきます。

主な指標等

【過疎地域医師数】



H22と比べて、医師数は、**12.4**ポイント増

【生活交通の確保】

路線バス等の生活交通が維持された市町数

H22～H30

全23市町

維持された航路数

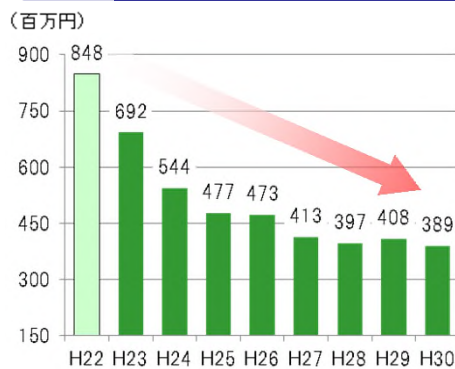
H22～H30

21航路

路線バスや航路などの生活交通については、

維持・確保

【農作物鳥獣被害額】



H22と比べて、農作物鳥獣被害額は、

半減

主な実績

● 中山間地域の人づくり

- 中山間地域振興条例の制定 [H25.10]
- 中山間地域振興計画の策定 [H26.12]
- ひろしま《ひと・夢》未来塾の実施
若い担い手の育成・確保のための研修を実施 塾生: **182**人 [H27～H30]
- ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクトの実施
首都圏から地域貢献に高い意欲を有する人材を確保
参加者: **175**人 [H27～H30]
- ひろしま里山・チーム500への登録: **294**人 [H30末]
- 「ひろしま さとやま未来博2017」の開催 (H29.3～11)
運営参加者数: **13,576**人 来場者増加数: **731,614**人

● 医療確保対策の徹底

- 奨学金制度等を活用したへき地等勤務医師の養成: **199**人 [H22～H30]
- 県北地域の無医地区への移動診療車による巡回診療の実施 [H24.7～]

● 産業の基盤づくり

- 中山間地域の未来創造計画への支援
全域過疎地域市町への支援: **10**市町 [H23～]
※府中市はH26～
一部中山間地域市への支援: **6**市 [H26～]



道の駅たかの

- 総合的な鳥獣被害防止対策の推進
農作物鳥獣被害額: **389**百万円 [H30] (H22比: ▲459百万円)



無医地区等への巡回診療

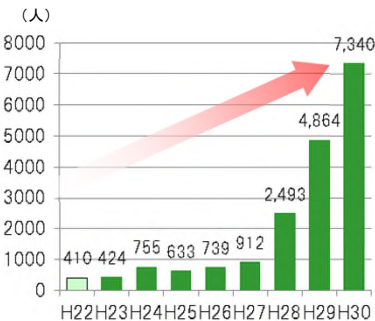
ポイント

平成23年度に策定した「国際平和拠点ひろしま構想」に基づき、世界の核軍縮・不拡散のプロセスの進展のための働きかけや、広島の実験を生かした平和構築人材の育成等を推進しています。

広島の発信力を強化するとともに、関係機関と連携して、平和活動を継続的に支援するための仕組みづくりを進めています。

主な指標等

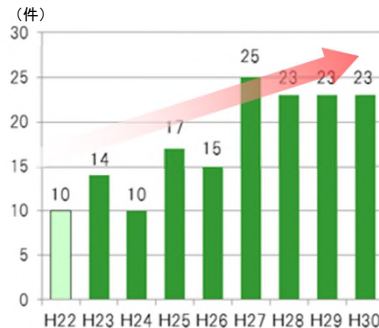
【県及び県の関係機関で平和を学ぶ人数】



H22と比べて、県及び県の関係機関で平和を学ぶ人の数は、

6,930人の増加

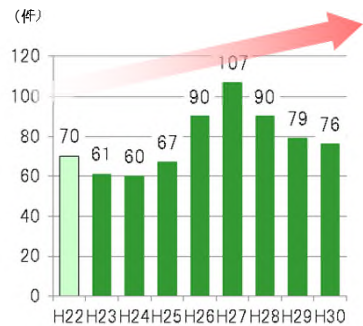
【平和関係国際会議開催件数】



H22と比べて、平和関係の国際会議の開催件数は、

13件の増加

【海外要人来広件数】




H22と比べて、海外の要人が広島を訪問した件数は、

6件の増加

主な実績

● 平和拠点の実現に向けた対策

- 国際平和拠点ひろしま構想の策定 [H23]
- トップによる海外PR
 - 潘基文国連事務総長へ構想への協力要請 [H23.11]
 - ユニタール本部長、トカエフ国連欧州本部長への協力要請 [H24.10]
 - NPT運用検討会議への参加(サイドイベントの開催) [H26~]
 - グテーレス国連事務総長へ世界経済人会議への出席要請 [H31.4] 等
- 核廃絶の機運を高める「ひろしまレポート」を公表 [H25~]
 - 核軍縮等に関する各国の取組を評価した報告書の取りまとめ
- 復興・平和構築の人材育成に活用する報告書を発信 [H26.4~]
- 高校生を対象に「グローバル未来塾inひろしま」を開講 [H28~]
- ローマ法王一般謁見 [H29.5]
 
- SDGs未来都市に選定 [H30.6]
- オンライン学習講座の開講 [H30~]
- 欧州の主要研究機関との連携協定を締結 [H30現在 4機関]

➢ 国際会議開催・誘致 [H23~]

- 国際平和シンポジウム、フォーラムの開催 [H23, H24]
- ひろしまラウンドテーブルの開催 [H25~]
- NPDI広島外相会合の開催支援 [H26.4]
- 国連軍縮会議の開催支援 [H27, H29]
- G7広島外相会合の開催支援 [H28.4]
- ひろしまジュニア国際フォーラムの開催 [H28~]

➢ オバマ米国大統領の広島訪問 [H28.5]



オバマ米国大統領の広島訪問



G7広島外相会合

● 多彩な平和貢献イベントの開催

- 国際平和のための世界経済人会議を開催 [H25.28,30]
 - 現代マーケティングの権威、フィリップコトラ教授 [H28]や、フランスの経済学者ジャック・アタリ氏 [H30]等、各界の有識者が平和について議論
- ワールド・ピース・コンサートの開催 [H25.7~8]
 